

原子力災害発生時の対処行動について

川内原子力発電所で、万が一、原子力災害が発生した時は、テレビやメール、防災行政無線等で皆様にお知らせします。

下記QRで原子力防災アプリをインストールして備えるとともに、詳しい内容を確認しましょう。

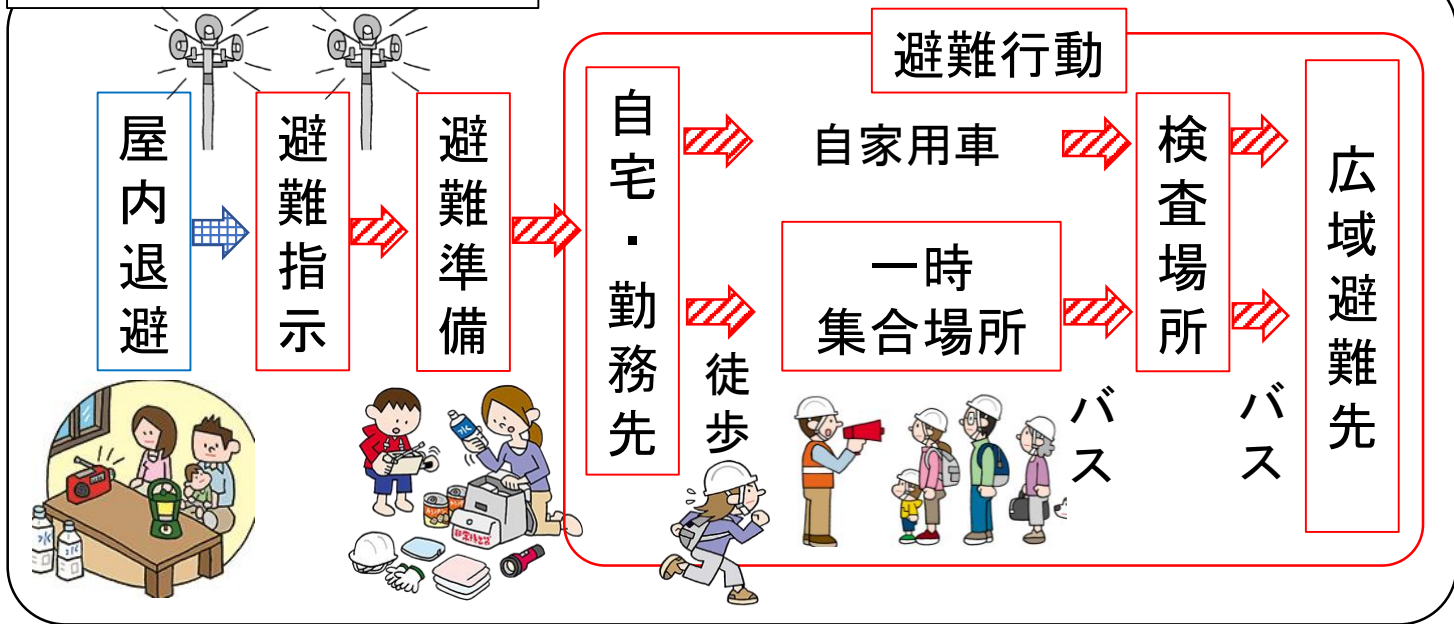


iPhone用



Android用

広域避難のイメージ



屋内退避の指示が出たら

- 1 窓や扉を閉め、全ての空調設備・換気扇を停止する。(放射性物質の進入防止)
- 2 窓際を離れ、屋内の中央へ退避
- 3 外出から帰宅後は手洗い、うがい、着替え後、衣服はビニール袋に入れ、口を閉める。
- 4 食品には、ふたやラップをかけ、冷蔵庫に入れる。
- 5 テレビ・ラジオ、インターネット等で情報収集し、デマ・風評に惑わされない。
- 6 指示があるまで屋外へ出ない。

避難指示が出たら

- 1 非常持出品の準備(最終チェック)
- 2 ガスの元栓、電気ブレーカーを切り、戸締りをする。
- 3 レインコート、マスクを装着(放射性物質の付着・吸入防止)
- 4 近隣住民に声を掛け、集団で避難する。
- 5 徒歩で一時集合場所へ移動しバスで検査場所を経て広域避難先へ避難する。
自家用車の場合、検査場所を経て広域避難先へ避難する。

非常持出品・備蓄品（例）

無い場合はバスタオル等を代用

非常持出品

- 1 避難活動に支障が出ないよう、荷物はできるだけ軽くしましょう。
- 2 重さの目安は成人男性で15kg、女性で10kg程度
- 3 できれば家族全員に1つずつリュック等を用意し、玄関先・車のトランク等、持ち出しやすい場所に分散して保管しておきましょう



貴重品類



- ①印鑑②預金通帳③健康保険証
- ④運転免許証⑤住所録⑥現金（紙幣の他公衆電話用の硬貨も）

ヘルメット（防災頭巾）

屋根瓦や看板などの落下物や転倒事故から頭部を守る。

警笛（遭難場所をアピール）



非常食・水



- ①乾パン②缶詰③ビスケットなど火を通さなくても食べられるもの
- ④水はミネラルウォーターなど
- ⑤赤ちゃんがいる場合は粉ミルク

衣類



- ①下着②上着③手袋④靴下
- ⑤ハンカチ⑥日本手拭い、タオル
- ⑦赤ちゃんがいる場合は紙おむつ

携帯ラジオ

- ①小型でFM・AM両方聴ける

スマホのラジオ



- ②予備電池

照明器具



- ①懐中電灯（できれば1人1個）
- ②予備電池
- ③ろうそく（太くて安定的なもの）

生活用品

- ①ナイフ（刃渡り6cm以下）
- ②缶切り③ライター



- ④ティッシュペーパー⑤ビニール袋

救急・衛生用品



- ①絆創膏②ガーゼ③包帯④消毒液
- ⑤解熱剤⑥胃腸薬⑦鎮痛剤⑧目薬
- ⑨持病用常用薬⑩体温計⑪マスク
- ⑫消毒用アルコール⑬室内スリッパ

備蓄品（例）

ボンベ、ラップ、ビニール袋は多めに備蓄

備蓄品

- 1 公的機関による救援（公助）の体制が整い、救助物資が届くまでの数日間を自活するためのもの。
- 2 最低でも3日分、できれば5日分を用意しましょう。

水



- ①飲料水は1人1日3リットルが目安
- ②保存期間を確認しこまめに取り替える。
- ③生活用水（炊事、洗濯、トイレなど）は、浴槽や洗濯機に貯水

食料品



- ①アルファ米②レトルト食品③缶詰
- ④切り餅⑤カップ麺⑥梅干し⑦菓子類
- など簡単な調理やそのまま食べられるもの

燃料・生活用品



- ①卓上コンロ（ボンベは多めに）
- ②固形燃料③洗面具④生理用品⑤紙製食器⑥キッチン用ラップ⑦割り箸
- ⑧新聞紙⑨ビニールシート

その他あると便利なもの



- ①携帯鍋（コッヘル）②携帯トイレ③使い捨てカイロ④雨具⑤ガムテープ
- ⑥さらし⑦筆記用具⑧地図⑨ドライシャンプー⑩ボディー洗浄剤⑪予備眼鏡

消火・救助用具



- ①消火器②スコップ③バール④のこぎり
- ⑤車のジャッキなど